

第 10 回番組審議議事録

1 審議完了日

2023 年 10 月 19 日 (木)

2 開催場所

書面にて審議

3 回答者

委員長 菅谷 実様

委員 岩浪 剛太様、野村 宗芳様、

木下 のぞみ様、田中 絵麻様

本審議会においては、下記番組を審議対象とし、委員より意見がなされた。

(審議対象番組)

- ・ 災害や停電時に充電できる大容量バッテリー

*2023 年 2 月 1 日 (水) 0:00 放送

(番組審議委員意見)

- ✓ 防災用途を主軸とした番組構成で、初めて蓄電池を購入する層を明確に想定した説明がなされており、性能・価格・利用シーンが分かりやすく伝えられていた。
- ✓ 小型・軽量・低価格で、蓄電池入門者向けの商品として適切であり、防災士の解説に具体性があり説得力を高めていた。
- ✓ 家電ごとの使用可能回数や停電日数の目安など、数値情報の提示は理解を助け、日常使い・アウトドア活用まで含めた提案により商品価値が強調されていた。
- ✓ 一方で、防災士の肩書きや専門性について、活動内容の補足説明があると、より信頼性が高まったとの意見があった。
- ✓ 「値崩れしていない」といった価格表現については、他 EC サイトとの比較状況を踏まえると、表現の妥当性に注意が必要との指摘があった。
- ✓ 番組後半では、テントや簡易トイレなど他の防災用品も紹介され、防災意識を高める

構成として評価されたが、各商品の説明時間が限られ、やや物足りなさも感じられた。

- ✓ 被災者コメント VTR については、やや台本的に感じられる部分があり、実利用者の声があると、より共感を得られたのではないかとの意見があった。
- ✓ 使用可能時間について、ランタン以外の家電（電気毛布、扇風機等）も、条件を含めた具体的な利用目安の説明が必要との指摘があった。
- ✓ ソーラーパネルによる充電に関する説明が強調される一方、家庭用コンセントでの充電方法についての説明が十分でなかった点は惜しまれるとの意見が出た。
- ✓ 蓄電池は高額で選択が難しい商品であるため、番組と実際の使用感の差異が口コミや返品につながる可能性があり、誠実で過不足のない説明の重要性が指摘された。
- ✓ 防災関連の地震リスク説明については、未確定情報を断定的に伝える印象を避け、客観的データを用いた表現が望ましいとの意見があった。
- ✓ 蓄電池の自然放電率や充電間隔といった長期保管時の情報も重要であり、視聴者の安心感につながる要素として番組内での補足が期待される。

（当社側回答・説明 要旨）

- ✓ 防災需要が高まる時期・背景を踏まえ、防災用途にフォーカスした番組構成を行った。
- ✓ 商品説明については、押しポイントに偏らず、基本的な使用条件・制約についても 60 分枠の中で、より丁寧伝える必要があると認識している。
- ✓ 価格表現やリスク説明については、誤解を招かぬよう表現の見直しを進めていく。
- ✓ 使用可能時間、充電方法、自然放電率などについては、フリップや説明素材の露出強化を検討する。

以上

第 11 回番組審議議事録

日時：2023 年 12 月 14 日（木）11:00～

場所：於 (株)QVC ジャパン本社会議室/Web 会議システム

出席者：

委員 菅谷 実様 岩浪 剛太様、野村 宗芳様、木下 のぞみ様、
田中 絵麻様（オンライン）、木田 真由美様（オンライン）

当社側：

代表取締役 石原 収

取締役放送編成本部編成部長 成田 信治

経営企画本部 堀 憲輔

オブザーバー：

株式会社 QVC ジャパン Content & Sales Strategy

Schedule Senior Manager 井貝 明子

株式会社 QVC ジャパン Talent & On Air Sale

Senior Manager 桑田 知幸

株式会社 QVC ジャパン Advertising Compliance

Manager 寺尾 勝

株式会社 QVC ジャパン Commerce Programming

Program Planner 坂下 展子

本審議会においては、下記番組を審議対象とし、委員より意見がなされた。

（審議対象番組）

・充電式ポータブルファン

2023 年 7 月 10 日 0 時放送（猛暑対策 快適夏ライフ／Today's Special Value）

(番組審議委員意見)

- 猛暑の時期に即した商品選定であり、コードレス・ポータブルという特性が現代の生活ニーズと合致している商品であった。
- 屋内外の多様な利用シーン（ベランダ、室内、寝室、外出先など）が具体的に示され、視聴者が自分の生活に引き寄せて想像しやすい構成であった。
- 番組冒頭の演出によって、当初は関心の薄い視聴者でも徐々に引き込まれる流れが作られており、プレゼンテーション全体の完成度は高かった。
- 価格帯については手に取りやすく、初めてQVCで購入する顧客を獲得できた点は評価できる。
- 「最大 15 時間使用可能」という表現については、実際の使用条件（風量による差）を踏まえると誤解を招く可能性があり、「最小～最大」の幅をより明確に示す方が親切であるとの意見が複数あった。
- 充電しながらの使用について、バッテリー劣化への配慮や注意点についての補足説明があれば、より安心感が高まったのではないかとの指摘があった。
- DC モーターの特性（静音性、省電力、細かな風量調整）について、番組内での説明は、スペック表では理解しづらい点を補っており有効であった。
- 一方で、単一商品を 1 時間放送する構成については、情報の繰り返しと感じられる側面もあり、関連商品の組み合わせ提案があれば、より幅のある構成になった可能性がある。
- カラー展開において、特定カラーの完売・再表示など、在庫表示の動きが分かりにくい部分があり、視聴者の理解を妨げる可能性があるとの指摘があった。
- リモコンについて、紛失防止や収納への配慮（本体への装着方法等）があると、さらに利便性が高まるとの意見があった。
- 全体として、商品力と番組構成が噛み合った好例であり、テレビショッピングならではの価値が発揮された番組であったとの総合評価であった。

(当社側の説明・回答 要旨)

- 本商品は QVC オリジナル商品であり、前年モデルからリモコン追加等の改良を加えたバージョンアップ品である。
- 使用時間表記については、最大値だけでなく使用条件ごとの目安が伝わる表現を今後検討したい。
- 在庫表示については、カラー別在庫構成やキャンセル戻りなどにより変動が生じるため、誤解を招かない運用・説明方法の改善を課題として認識している。
- 売上については、想定を上回る実績であり、TSV 当日に大半の在庫を消化する結果となった。

- 単一商品長時間放送については課題認識があり、今後は関連商品の組み合わせや番組構成の工夫を検討していく。

以上

